

知っておきたいルール ④他のコートからボールが転がって来たとき

【ゲームの状態】

ヤマダ・サトウ組とスズキ・タナカ組は、2番コートでセルフジャッジの試合をやっていました。両隣のコートでも試合をしていて、2番コートにボールが転がって来て、プレーを妨害することがありました。

a) タイム(レット)のコール: ヤマダ・サトウ組とスズキ・タナカ組の長いラリーが続いているときに、隣のコートからヤマダ・サトウ組側のコートにボールが転がってきました。それ見たスズキ君が、タイム(レット)のコールをしましたが、ヤマダ君はボールが自分のコートにあるので、ボールのないコートのスズキ・タナカ組には、タイム(レット)のコールをできないと言いました。スズキ君は、タイム(レット)のコールが出来ないのでしょか。

b) 第2サービスの妨害: ヤマダ君が第1サービスをフォールトして、第2サービスのモーションに入り、ボールを打ったときに、隣のコートからボールが転がってきました。それ見たスズキ君が、タイム(レット)のコールをしました。ヤマダ君は、プレーが妨害されたとして、第1サービスからポイントをやり直そうとしましたが、スズキ君がサービスのレットなので、第2サービスからのやり直しではないかと言いました。ヤマダ君とスズキ君のどちらが正しいのでしょうか。

c) インプレー中の妨害: ヤマダ君が第1サービスをフォールトして、第2サービスが入ってラリーが続いているときに、隣のコートからボールが転がってきたので、ヤマダ君からタイム(レット)がコールされました。ヤマダ君は、プレーが妨害されたとして、第1サービスからポイントをやり直そうとしましたが、スズキ君が第2サービスからのプレー中でのレットなので、第2サービスからのやり直しではないかと言いました。ヤマダ君とスズキ君のどちらが正しいのでしょうか。

【ルールは】

a) セルフジャッジの試合において、他コートからボールが入ってくるなどの妨害が起こった場合は、コート上のすべてのプレーヤーが、「タイム(レット)のコール」をしてプレーを停止できる。なお、正しいコールは、「タイム」ではなくて「レット」である。

b) 「第2サービスのモーションの前」に、足下へ隣のコートからボールが転がってきた場合、妨害されたとは判断しない。但し、サーバーが「第2サービスのモーションに入った後」に、ボールが入ってきた場合、プレーが妨害されたとして、第1サービスからポイントをやり直す。

c) 「インプレー中に他のコートからボールが転がってきた場合」、レットをコールしてポイントのやり直しになる。但し、レットがコールされたときに、以下の状況が起こった場合は、レットは取り消されて、そのポイントは成立する。

- ・レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打ったプレーヤーチームは失点する。
- ・レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかなウイニングショット又はエースとなった場合、そのボールを打ったプレーヤーチームの得点となる。

【正しい処置は】

a) タイム(レット)のコール: スズキ君は、タイム(レット)のコールができる。スズキ君を含めてプレーヤー全員がタイム(レット)のコールができる。

b) 第2サービスの妨害: ヤマダ君の第1サービスからポイントをやり直す正しい。ヤマダ君は、第2サービスのモーションに入り、ボールを打っているので、インプレー中に妨害されたことになり、第1サービスからポイントをやり直すことができる。

c) インプレー中の妨害: ヤマダ君の第1サービスからポイントをやり直す正しい。インプレー中に他のコートからボールが転がってきた場合、レットをコールしてポイントのやり直し(第1サービス)になる。